

(仮称)第2期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子(案)について説明し、各委員から意見をいただいた。

【以下、主な質疑・意見の概要】

○第1期の総合戦略の評価を受けて策定するものだと思うが、市はどのように評価しているのか。

⇒ 子育て世代包括支援センター「きさらづネウボラ」の開設や、待機児童解消に向けた派遣保育士の導入など、基本目標それぞれ成果や反省を踏まえて策定していく。

また、目標値に届かない取組もあるので、指標の見直し等も含めて実情にあった総合戦略を策定していく。

○Society5.0の実現に向けて、フリーwi-fiの環境整備を推進することで、観光や防災など様々な分野で活用できると思う。

○出生数や、人口の社会増の数値目標について、実績値と目標値に大きな乖離があるがどのようにお考えか。

⇒ 第2期では、実績値を精査した上で、適正な目標値を設定したいと考えている。

また、中心市街地のマンション建設や、金田西地区の人口の状況等を見定めながら目標値の設定をすることとする。

○金田地区の渋滞対策について、道路整備が重要と考える。

○新市街地は人口が増えてきているが、東清地区や鎌足地区などは住宅が建築できないため、児童が減少しているが。

⇒ 空家リフォーム助成制度をPRし、活用してもらい、地域で多様なスタイルの暮らしが出来ることをアピールしていきたい。

○結婚対策について、どうお考えか。

⇒ 妊娠から子育てまでの総合的な相談・支援を行っているところである。ライフスタイルが変わってきているが、出産に向けて結婚もひとつのきっかけとなると考えている。

○災害対策について、体育館が避難所になったりするが、真夏は暑くて熱中症の恐れもある。真夏や真冬に災害が起きた時の対策も必要ではないか。

⇒ 現在、避難所運営マニュアルを各地区に作成するよう働きかけている。また学校に太陽光ソーラーパネルを設置するなど、災害時の対応にも取り組みたい。